

問1 日本の衆議院議員選挙などで採用されている、1つの選挙区から1人の代表者を選ぶ選挙制度において生じやすい課題として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 沖縄公立入試 類似）

1. 当選者以外の候補者に投じられた票が「死票」となり、得票率と議席数にズレが生じやすい。
2. 1つの選挙区から複数の当選者を出すため、選挙費用が非常に高額になりやすい。
3. 少数政党の代表者が当選しやすくなるため、多くの小政党が乱立して政局が不安定になりやすい。
4. 有権者が政党名で投票する仕組みであるため、個々の候補者の政策が有権者に伝わりにくい。

問2 日本の衆議院議員総選挙の推移において、第45回（平成21年）には有権者数約1億390万人に対して投票者数が約7200万人でしたが、第48回（平成29年）には有権者数が約1億610万人へと増加したにもかかわらず、投票者数は約5700万人へと減少しています。このような投票率の低下が政治に及ぼす影響として、最も適切な記述を選びなさい。（2021年 福岡県公立入試 類似）

1. 組織票を持つ特定の団体や一部の層の意見が政治に強く影響するようになり、国民全体の意思が平等に反映されにくくなる。
2. 投票者数が減少することに伴い、選挙区の定数や議員の定数が自動的に削減されるため、政治の効率化が進む。
3. 有権者数そのものは増加傾向にあるため、投票者数が減少しても民主主義における政治の正当性が損なわれることはない。
4. 棄権者が増えることで、各政党は浮動票を獲得するための政策競争を止めるため、政治的な対立が解消される。

問3 ある選挙区の比例代表選挙において、定数が6議席であり、各政党の得票数が、A党：54万票、B党：33万票、C党：24万票、D党：21万票、E党：15万票であったとします。ドント式を用いて議席を配分した場合、A党が獲得する議席数として正しいものはどれですか。（2016年 鳥取公立入試 類似）

1. 2議席
2. 3議席
3. 4議席
4. 5議席

問4 日本の選挙制度において、公職選挙法が「選挙の公正」を確保するために果たしている役割や規定の内容として、最も適切な説明を選んでください。（2023年 大阪公立入試 類似）

1. 選挙区ごとの議員定数や投票の手順を定め、不正のない選挙運営を目指す役割
2. 地方公共団体の組織や運営のあり方を定め、住民の参政権を具体化する役割
3. 内閣総理大臣の指名手続きや国会の会期など、統治機構の運用を定める役割
4. 教育の機会均等を図るため、学校教育における中立性を保持する役割

問5 日本の衆議院議員選挙において、一つの選挙区から一人の議員を選出する仕組みと、全国を11のブロックに分けて政党の得票数に応じて議席を配分する仕組みを組み合わせた現在の制度の名称として正しいものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

1. 小選挙区比例代表並立制
2. 大選挙区比例代表連記制
3. 中選挙区制度
4. 完全比例代表制

問6 過去の国政選挙において、一票の価値が選挙区によって最大4.4倍という大きな格差が生じていた状況に対し、最高裁判所が「議員定数の配分を定めた公職選挙法の規定は憲法に違反する」と判断した主な根拠となる考え方はどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

1. 法の下での平等に基づき、投票の価値に著しい不平等が生じてはならないため
2. 直接民主制を強化し、国民の意見をより反映しやすくするため
3. 小選挙区制は死票が多くなるため、比例代表制のみを採用すべきであるため
4. 衆議院と参議院の議員定数は常に同数でなければならないため

問7 18歳から29歳の投票率が全世代の中で最も低く、棄権の理由として「選挙にあまり関心がなかった」という回答が目立つ統計結果を踏まえ、多くの自治体では若年層に向けた対策を強化しています。このような取り組みが行われている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 選挙管理委員会が負担する選挙運営の費用を大幅に削減するため。
2. 被選挙権の年齢を引き下げること、若者の立候補者を強制的に増やすため。
3. 若者が政治を身近に感じる機会を増やし、主権者としての意識と政治への関心を高めるため。
4. インターネット投票を全面的に導入し、従来の投票所をすべて廃止するため。

問8 参議院の比例代表制の選挙において、日本全国をひとつの単位として選挙を行うことの特徴を説明しているものはどれですか。（2019年 高知公立入試 類似）

1. 日本全国どこに住んでいても同じ候補者に投票できる
2. 必ず住んでいる地域の代表者だけを選ばなければならない
3. 全国をいくつかのブロックに分けて投票する
4. 4年ごとに議員全員が入れ替わる

答え合わせ・解説

問1	答え 1 当選者以外の候補者に投じられた票が「死票」となり、得票率と議席数にズレが生じやすい。	小選挙区制は、1つの選挙区で最も得票の多かった1名のみが当選する仕組みです。このため、落選した候補者に投じられた票はすべて議席に結びつかない「死票」となります。その結果、第一党が実際の得票率を大きく上回る議席を獲得したり、少数派の意見が議会に反映されにくくなったりするという課題があります。
問2	答え 1 組織票を持つ特定の団体や一部の層の意見が政治に強く影響するようになり、国民全体の意思が平等に反映されにくくなる。	統計データが示す通り、有権者数が増加している中で投票者数が減少している状況は、棄権する国民の割合が高まっていることを意味します。投票率が低くなると、特定の利害関係を持つグループや組織的な集票力を持つ層の投じる票の価値が相対的に高まってしまいます。その結果、政治家はそれら特定の層に向けた政策を重視しやすくなり、投票に行かない層や社会全体の多様な意思が公平に政治へと反映されなくなるという「意思の反映」の偏りが生じます。
問3	答え 2 3議席	各政党の得票数を1、2、3と順に割って商を比較すると、大きい順に、①A党（ $54万 \div 1 = 54万$ ）、②B党（ $33万 \div 1 = 33万$ ）、③A党（ $54万 \div 2 = 27万$ ）、④C党（ $24万 \div 1 = 24万$ ）、⑤D党（ $21万 \div 1 = 21万$ ）、⑥A党（ $54万 \div 3 = 18万$ ）となります。定数が6議席であるため、この6番目までが議席を獲得することになり、A党は1番目、3番目、6番目に該当するため、合計で3議席を獲得することになります。
問4	答え 1 選挙区ごとの議員定数や投票の手順を定め、不正のない選挙運営を目指す役割	公職選挙法は、選挙が公平かつ自由に、そして正しく行われるための詳細な「ルールブック」です。例えば、特定の候補者が有利になりすぎないよう選挙運動の期間や方法を制限したり、人口比に基づいた議員定数の見直し（一票の格差の是正）を行ったりすることで、国民の意思が正しく政治に反映される仕組みを支えています。
問5	答え 1 小選挙区比例代表並立制	衆議院では1994年の公職選挙法改正以降、小選挙区制と比例代表制を同時に実施する制度が採用されています。小選挙区制は政権交代が起きやすく政局が安定しやすいという特徴があり、比例代表制は死票を減らし、少数意見を反映させやすいという利点があります。これらを組み合わせることで、それぞれの長所を活かすことが図られています。
問6	答え 1 法の下の平等に基づき、投票の価値に著しい不平等が生じてはならないため	日本国憲法第14条では「法の下での平等」が定められており、選挙における一票の価値も平等であることが求められます。人口移動などによって選挙区間の有権者数に大きな差が出ると、議員一人を当選させるために必要な票数に差が生じ、実質的に一票の重みが不平等になります。最高裁判所は、この格差が著しい場合には、国会が定めた議員定数の配分を違憲と判断することがあります。
問7	答え 3 若者が政治を身近に感じる機会を増やし、主権者としての意識と政治への関心を高めるため。	若者の投票率が低い背景には、政治に対する知識不足や関心の低さが指摘されています。大学への期日前投票所の設置や高校での啓発活動は、生活圏内で政治に触れる機会を創出し、若者が自ら社会の形成者（主権者）であるという自覚を持つことを狙いとしています。
問8	答え 1 日本全国どこに住んでいても同じ候補者に投票できる	参議院の比例代表制では、全国をひとつの選挙区として扱います。そのため、住んでいる場所に関係なく、全国の候補者の中から自分たちの考えに近い人や政党を選んで投票できることが大きな特徴です。衆議院の比例代表制が全国をいくつかのブロックに分けているのとは異なる点です。